

1歳6か月のこころやことばの発達

牛久市



お子さんのこころはどんな時期？

「自分でなんでもやりたい」という気持ちが強くなってきます。ママやパパの真似をすることもあり楽しい時期です♪



自我の芽生えは成長のあかし！

周りのお子さんと比べてイヤイヤ、かんしゃくが強く、「うちの子大丈夫かな？」と不安になることや、対応に困ることもあるかと思えます。



この時期のよくある悩みとは？

イヤイヤ期



- ☆「自分でやりたい！」という自己主張の現れです。
- ☆お子さんの気持ちを尊重し、色々な事にチャレンジさせてあげましょう！
- ☆自分でやりたいけど、できない時にはちょっとだけお手伝いをしてあげましょう！「できる」が自信になります♪

お子さんの挑戦意欲を満たしてあげよう！

かんしゃく



- ☆自分の気持ちを上手に言葉にできない時期なのでよく見られることです。
- ☆お子さんの気持ちを言葉で代弁してあげましょう。
- ☆言葉を覚えて話せるようになってくるとかんしゃくは減ってきます♪

ことば、コミュニケーションの発達

意味のあることばを話せるようになり、物事への関心が高まってくる時期です！

うちの子…遅いのかな？



- ☆話始めやことば数など個人差は大きい時期です。
- ☆ことばを理解することが先で後からことばが出てきます。
- ☆自分の要求を何かしら発していれば心配はいりません。
- ☆指差して自分の要求を相手に伝えようとしています。

お子さんに分かることばが増えてきて、話したい気持ちが育つと、ことばとなって自然と出てきます！

★お子さんの「話したい」気持ちを育てましょう！

- 1 お子さんのしていることをまねして声をかけてみましょう！
例)一緒に遊んでいるときに「楽しいね」と声をかけると、ことばが耳に入りやすくなります♪
- 2 お子さんの言いたいこと、気持ちをことばにしてみましょう！
例)お子さんは気持ちを行動で表現します。お子さんの動きを見て「もっと遊びたいのね」と代わりに声をかけてみましょう♪
- 3 お子さんの言葉の内容を広げて話してみましょう！
例)お子さんが犬を見て「ワンワン」と言ったら「ワンワン歩いてるね。可愛いね」と内容を膨らましてあげましょう♪
- 4 ママやパパの気持ちをことばにしてみましょう！
例)「ママ、うれしいよ」など、時には大人の気持ちも率直に伝えると、お子さんが状況をくみ取ることを覚えていきます！

★毎日子育てを頑張っているパパとママへ

頑張ってお対応していると疲れてきてしまいます。ママやパパも力を抜く時間も大切にしましょう♪

何かご心配なことがある時には、こどもの未来応援センターまでご相談ください！
牛久市保健福祉部こども局こどもの未来応援センター（直通）029-870-5657 平日（月～金）8:30～17:15

～裏面では親子遊びを紹介しています～